

2022 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）

日 時：2022 年 4 月 15 日（金） 17:30～19:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）
Zoom によるオンライン

出席者：三輪（会長），杉野（1 期），高瀬（2 期），青木（3 期），大澤（4 期），遠山（5 期），加藤（7 期），寺島（8 期），河邑（9 期），石川（10 期），伊藤（11 期），水野（12 期），田中（13 期・会計監事），磯部（14 期），向井（15 期），大東（16 期），織田（17 期），岩田（18 期），片山（20 期），後藤（21 期），加藤（22 期），中村（23 期），野田（25 期・教員幹事），石川（27 期），川崎（29 期），石川（31 期），香川（33 期），三輪（34 期），田代（35 期），中井（36 期・幹事長），判治（37 期・副幹事長・名簿），中村（39 期・会員・会計），渡邊（40 期），二井内（41 期），宇佐美（42 期），酒井（44 期・名簿・広報），吉川（46 期・会計），坂（50 期），勝田（52 期），根橋（53 期），朝隈（54 期），広瀬（57 期・学生会会長），佐藤（58 期），永田（4 年生），花田（4 年生），豊島（東京支部），永田（次期東京支部），仙田（関西支部），椿（しゃち），趙（留学生）

敬称略

出席者数 50 名

1. 報 告

1. 令和 3 年度会計報告 (中村(友)) p.006
 - ・ 令和 3 年度（2021 年度）の会計報告がなされた。2021 年度は 2020 年度に引き続いて支出が減ったため、収支が改善されて黒字となった。ただし、今後コロナ収束に伴って各種行事が再開されると支出が増加することに加えて、プレミアム会員増加に伴う収入減、若い期の納入率の低下、会員数増加に伴う名簿・しゃち作成費・郵送費の増加のため、繰越金の減少に気をつけていく必要がある。
2. 後援基金報告 (田代) p.009
 - ・ 令和 3 年度会計報告がなされた。
 - ・ 後援基金使用ルール変更の確認があった（全会役員会にて承認済み）。
 - ・ 令和 2 年度会計報告に修正があったことが報告された。具体的には、終身会員資格として、9 月修了生で 1 名、3 月修了生で 1 名の追加があり、支出が 30,000 円増となった。
3. 支部活動報告
 - 1) 東京支部 (豊島) p.013
 - ・ 新型コロナウイルスのため、支部会員を対象とした活動はできなかったが、幹事間でのメールによる意思疎通・情報伝達を行うとともに、各期幹事の交代や連絡先等、名簿の更新作業を行った。

- ・ コロナの感染状況次第だが、11月18日に東京支部総会を開催予定であることが報告された。会場は仮予約済みとのこと。
- ・ 2022年度の東京支部幹事は、32期の永田氏にご担当頂くことが報告された。

2) 関西支部 (仙田)

- ・ 新型コロナウイルスのため、支部活動は中止となったことが報告された。なお、支部メンバーに交代はないとのこと。
- ・ オンラインでの活動を提案する声も一部あったが、同窓会支部活動としては対面での活動を基本と考えており、コロナの状況が良くなり次第、活動を再開していく予定であることが説明された。

4. 教室近況報告 (野田) p.014

- ・ 尾花先生の中部大学への異動、趙先生の特任講師への昇任、富田先生の減災連携研究センターへの異動および工学研究科兼任、永石先生の名古屋大学アジア共創教育研究機構への異動、柿元先生のオリエンタルコンサルタンツ(株)への異動、張先生の着任が報告された。加えて、水谷先生が副総長となられたことが報告された。
- ・ アフガニスタンの情勢変化に伴って、名古屋大学では修了生をアフガンフェローとして受け入れ、家族も含めた入国後の支援を行っていることが説明された。土木系教室はこれまでに JICA の奨学金でアフガニスタン政府の職員を修士として受け入れており、6名の修了生が対象(内1名は入国済み)とのこと。対象者は政府機関で働いていた経歴から、現政権下では身の危険があるため、名古屋大学が受け入れ、その後の自立支援を行っている。しかし、大学からの支援期間は入国後1年間と限られており、その期間内に仕事を探さなくてはならないこと、日本語の習得、長期的な家族の生活維持や子供の教育など、課題も数多く残っている。JICA への支援要請も進めている最中だが、特に以下2点について各期同窓生へ情報展開と支援をお願いしたい旨、依頼があった。

① 寄付金への協力(名古屋大学 HP から)

https://www.nagoya-u.ac.jp/info/20220401_kifu.html

② 就職に関する情報提供

アフガンフェローを雇用してくれそうな会社に関連する情報がありましたら、野田(教員幹事)または中井(幹事長)まで連絡頂きたい。

5. 女子の会活動報告 (張 代理: 中井)

- ・ コロナ禍で活動ができていない状態だが、状況が回復次第再開していく予定であることが報告された。

6. 留学生関連活動報告 (趙) p.016

- ・ 2022年度の活動計画が報告された。2021年度に発刊されたしゃち No.62 から記事を抜粋・英訳して、Alumni Newsletter No. 10 として発刊予定であることが報告された。なお、Tea Chat Party はコロナ禍で実施できていないが、コロナの状況を踏まえて活動を再開させていくとの説明があった。

7. 学生会活動報告 (広瀬) p.017
- ・ ソフトボール大会や土木懇親会、卒業記念パーティなど、学生会の活動は名古屋大学の活動指針を踏まえて、開催・中止の判断を行うことが説明された。名大祭土木展については、名大祭実行委員会の判断に従う。
8. 土木系教室関係の行事実施報告
- 1) 土木事業の談話会 (2021年11月20日(土)・オンライン開催) (中井) p.018
- ・ 例年よりも開催時期を一月ほど前倒しにし、講演数を多く(4件から8件)して実施したことが報告された。
 - ・ オンライン開催となって参加者数は増加している(特に学部2年生や3年生)が、講演会終了後の講師とのディスカッションや交流に難しさを感じていることが報告された。コロナ収束後の開催形態については、今後検討していく。
- 2) 就職マナー講習会 (2022年1月13日(木)・オンライン開催) (中井) p.020
- ・ コロナ禍を鑑み、昨年度に引き続きオンラインで実施されたことが報告された。
 - ・ 参加者数が減少しており、マナー講習会の位置づけや学生の希望を整理してみるこことが報告された。
- 3) 土木系教室卒業・修了記念式典 (2022年3月25日(金)) (中井) p.021
- ・ コロナ禍で卒業記念パーティが実施できていなかったが、卒業生・修了生を教室として送り出してあげるために、学内で記念式典を実施したことが報告された。近年できていなかった集合写真の撮影などを実施し、卒業生・修了生にとっても有意義な会となった。
 - ・ 卒業記念パーティ用に予約していたメルパルクはギリギリまで開催可否の判断を遅らせたため、キャンセル料が発生した。キャンセル料72,930円は鏡ヶ池会から支援頂いたこと、報告と御礼があった。
9. その他 (中井)
- ・ 同窓会サミットが7/16(土)16:00から開催予定であること、ホームカミングデイが10/15(土)に開催予定であることが報告された。
 - ・ 8期で同期会を開催予定であることが報告された。

2. 議 事

1. 役員・幹事の変更 (中井) p.001
- ・ 支部担当(東京)が豊島径氏から永田裕規氏、会員担当(名簿)が柿元祐史先生から豊田智大先生、教員幹事が戸田祐嗣先生から野田利弘先生、女子の会担当が尾花まき子先生から張馨先生、会計監事が田中浩二氏から向井克之氏に交代すること、学生会会長に広瀬祥君、4年幹事に永田聡太君と花田優さんが就任することが提案され、承認された。
2. 令和2年度第1回鏡ヶ池会役員会議事録の確認 (中井) p.002

- ・ 令和2年度第1回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。
3. 「会員名簿 No.58」編集方針 (判治) p.022
- ・ 名簿 No.58 については、例年通りの編集方針・スケジュールで進めること、紙媒体での製作数は No.57 と同様に 30 部を検討していることが説明され、承認された。
 - ・ CD を読み込めない PC が増えているため CD 以外の媒体での配布を希望している、名簿の処理に困っている（個々への郵送は不要）などの意見・要望があった。これらに関連して、USB はプロテクト代金が高価となっしまい現実的ではないという実情、クラウド上で名簿を更新・閲覧する方法や各期幹事のみ名簿データを渡して会員への配布は幹事に一任する方法の提案、名簿郵送の要・不要を事前調査すること、などの意見・提案があった。しかしながら、名簿配布・編集方法を複雑化すると担当者の負担増に繋がるため注意が必要である。No.58 は従来通りの方法で進めることとし、次回役員会までに現状維持も含めた方針案を会員担当で検討することとした。
 - ・ 名簿作成費に関する質問があり、おおよそ 90 万円であることが説明された。
4. 「しゃち No.63」編集方針 (椿) p.024
- ・ しゃち No.63 の編集方針が説明された。基本的には例年通りだが、昨年度の特集テーマ「わたしの景観」は常時募集するテーマとして考えていることが報告された。
 - ・ No.63 の特集テーマとして「持続可能な開発目標」「温故知新」が案として示された。特段の意見はなかったため、今後、編集委員会を中心に定めていくこととした。
5. サーバの管理について (酒井) p.026
- ・ サーバーレンタル料 16,848 円/年、迷惑メールフィルター1,296 円/年の更新に関する説明があり、承認された。なお、ドメイン管理費 11,480 円/3 年は令和5年度に契約期限を迎えるため、令和5年度に更新の必要がある。
6. 第32回総会について (中井) p.028
- ・ 32回総会は可能な限り「現地開催+希望者はオンライン参加」とし、総会終了後に懇親会を開催する案が提案され、承認された。なお、会場キャンセルの手続きや費用を鑑み、会場は大学施設とすることとした。コロナの状況次第でオンラインに切り替え、懇親会は中止とするが、その判断は懇親会会場のキャンセル可能日とする。
 - ・ 開催日時については、(懇親会開催のため)従来の金曜日夕方とすることとした。候補日は以下の通り。会場の空き状況を確認して、日程を確定する。日程と合わせて、現地参加の判断基準を定めることとした。
 - ① 2022年6月17日(金) 18:30~19:30 総会 総会終了後に懇親会
 - ② 2022年6月10日(金) 18:30~19:30 総会 総会終了後に懇親会
→ 役員会資料に誤記あり。6月11日(金) → 6月10日(金)。
 - ③ 2022年6月03日(金) 18:30~19:30 総会 総会終了後に懇親会

7. その他

- ・ 特になし

以上